

お知らせ

○笹渕教諭（4年生担任・音楽専科）が学校に戻ってきました！

4年生の学級担任であり、音楽専科の笹渕隆志教諭が春休みの作業中に腕を痛めていたため、手術をし、入院を続けておりました。そのため、4月の年度当初から笹渕教諭が不在のまま本校の教育活動を進めておりました。4年生の子ども達の学び、そして、全校児童の音楽科の学習において大変ご迷惑をおかけいたしました。そうした中、これまで副担任の日永田先生をはじめ全職員でカバーしながら、子ども達の教育に当たっておりました。

その笹渕教諭が、ゴールデンウィーク明けから学校に復帰しております。4年生の子ども達の日常の学び、そして、音楽科の学習も笹渕教諭の指導の下に行われることになります。しかしながら、まだまだ痛みも残り、リハビリや診断も継続しております。そうした状況ですので、今後も笹渕教諭と全教職員とで力を合わせながら、様々な学習活動を進めていきたいと思っておりますので、ご理解の上、何卒よろしくお願い致します。

○外国語（英語）の学習にA L T（外国語指導助手）が入ります

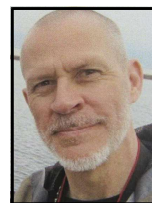
昨年から現在にかけて、週2時間の外国語（英語）の学習は、山田佐智子先生が一人で担当しておりました。ただ、外国語の学習にはA L T（外国語指導助手）が一緒に入ること、一層の英語学習の環境が整うとともに、子ども達に国際的な視野を開かせることもできます。

そこで、今週の16日（金）から、新しいA L Tの先生が外国語（英語）の学習に入ることになりました。そのA L Tの先生について紹介いたします。

【名前】 ティモシー・スコット・グリーブス先生（ティム先生）

【出身地】 カナダ

【紹介】 明るく、日本語も話せる先生です。運動が趣味で、ウォーキングやジョギング、サイクリングなど、アクティブに体を動かすことが大好きだそうです。地域の消防団にも参加されており、親しみやすくフレンドリーな性格の方です。これまでも筑紫野市や筑後市でA L Tをされていた経験があります。



○職員玄関前の工事の延長について

職員玄関前の工事が延長され、お子様をお送りの際等、車でロータリーに入ることができず、大変ご迷惑をおかけいたします。当初の予定では入学式前には工事が終了する予定でしたが、当初の予定より、さらに補修が必要な箇所が見つかり、そのために工事が延長しております。工事業者の話によりますと、夏休み前までかかるのではないかということです。大変、ご迷惑をおかけしますが、何卒、よろしくお願い致します。

感じたことから

○友達同士のトラブルが起こるのは・・・

10日間の長いゴールデンウィークの休みを経て、先週から学校が再開されました。これから本格的に新しい学年の生活を充実させていくことになると思います。そして、そうした中で、友達との絆を深めていってほしいものです。ただ、場合によっては友達同士のトラブルが起こることもあるかもしれません。

ある学校のアンケートで、「いじめられたことがありますか」と「いじめたことがありますか」という被害と加害について尋ねた問いがあったそうです。その問いで、それぞれに「ある」と回答した児童の数は次の通りだったそうです。

「いじめられたことがある」と回答した数 > 「いじめたことがある」と回答した数

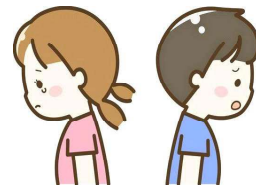
さらに、この数には比較的大きな差があったそうです。では、こうしたことはどうして起こるのでしょうか？

具体的にな例として次のようなケースがよくあります。

無視されたというA君・・・「昨日の朝、B君に声をかけたけれど無視された」

無視したとされるB君・・・「昨日の朝、A君から声をかけられていない。サッカーに夢中になっていたから気づかなかったのかな？」

他者に対して知らないうちに本当に嫌な思いをさせてしまった、というケースもあるでしょう。しかし、上記の例のように、“思い違い”であることも多いようです。それを「きっと、わざとだ」と悪くとらえてしまって、人間関係を崩してしまうケースがよくあります。そうした場合、優しい言葉で直接聞いてみると、「思い違い」を修復しやすくなるのかなあ、と思います。



友達との関係は、子ども達の学校生活を快適にする上でとても重要です。友達同士の“思い違い”が解消され、みんなが楽しい学校生活を送れることを心から願っています。